

令和7年度の委員会運営方法について

1 付議事件

誰もが居場所と役割を持ち、いきいきと生涯活躍できるまちづくりや地域コミュニティの活性化に関すること。

2 委員会の設置理由（令和7年5月14日市会運営委員会資料抜粋）

人口減少や高齢化の進行により、地域において担い手不足や人のつながりの難しさなどの課題が生じている。誰もがいくつになっても地域社会でいきいきと活躍するとともに、人がつながり、地域活動が活発になることで地域コミュニティが活性化するよう、その実現に向けた施策について調査・研究を行うため、新たな特別委員会を設置する。

3 特別委員会運営方法（市会運営委員会申し合わせ・確認事項抜粋）

- ・付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取（学識経験者）などを行う。
- ・委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するときに議長に提出するものとする。

4 令和7年度調査・研究テーマ案

つながり再構築に向けた地域支援について

（テーマ選定理由）

少子高齢化の進行、単身世帯や共働き世帯の増加、高齢者の就業増加など、地域に様々なライフスタイルが混在する中、排他性や疎外感が生まれやすくなっている。また、自治会町内会の加入率が低下し、地域のつながりの希薄化等に伴い、地域活動の担い手不足や新たな担い手の発掘が課題となっている。

こうした状況において、誰もが無理なく、かつ自分らしい形で地域と関われる社会への転換が求められている。

そのためには、多くの人々が地域課題を自分ごととして捉えられるように、地域活動へのオンライン参加や単発での参加、趣味を通じた交流からの参加など、柔軟で多様な新しい地域参加ができるような行政の支援の在り方を検討する必要がある。

そこで、今年度はつながり再構築に向けた地域支援についてというテーマで、調査・研究を行うこととしたい。